

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第27週 (6/29-7/5) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	27週	26週	25週	24週
小児科	18	17	18	16
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	27	28	26
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数  
下段:定点当たりの患者数  
「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	6/29-7/5	6/22-6/28	6/15-6/21	6/8-6/14	6/22-6/28
			27週	26週	25週	24週	26週
小児科	RSウイルス感染症		1	0	0	0	4
	咽頭結膜熱		14	11	4	10	131
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		56	77	66	64	520
	感染性胃腸炎		107	92	124	121	748
	水痘		7	5	14	5	46
	手足口病	○	89	55	20	29	251
	伝染性紅斑	↓	25	27	17	25	189
	突発性発しん		10	12	15	15	78
	百日咳	↓	1	6	1	1	10
	ヘルパンギーナ		5	6	4	2	110
	流行性耳下腺炎		10	8	10	5	102
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	13
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		3	1	2	5	37
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	1	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	2

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(12件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	結核	男性	70歳代	病原体等の検出等
結核	男性	50歳代	IGRA検査	結核	女性	20歳代	IGRA検査
結核	男性	50歳代	IGRA検査	結核	女性	70歳代	病原体等の検出
結核	男性	60歳代	IGRA検査	腸管出血性 大腸菌感染症	男性	10歳代	病原体の検出及び ペロ毒素の確認
結核	男性	60歳代	病原体等の検出				
結核	男性	60歳代	IGRA検査	A型肝炎	男性	30歳代	血清IgM抗体の検出
結核	男性	60歳代	病原体の検出	-	-	-	-

・結核10件(117)、出血性大腸菌感染症1件(5)、A型肝炎1件(5)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

### 定点当たり報告数 第27週のコメント

<手足口病> 前週より増加し4.94となった。過去10年の同時期と比べると多い。

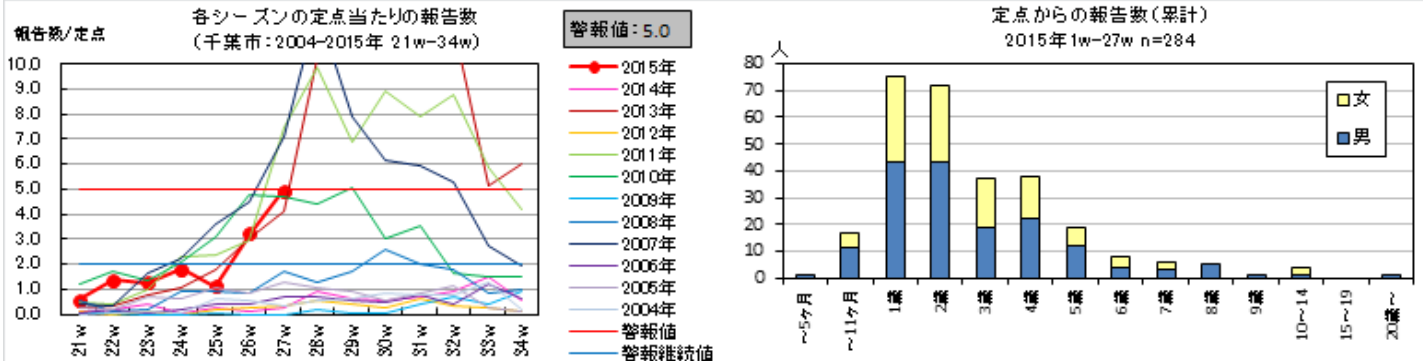
<伝染性紅斑> 前週より減少し1.39となったが、過去10年の同時期と比べると最多。

<百日咳> 前週より減少し0.06となった。過去10年の同時期と比べると多め。

■ トピック ■

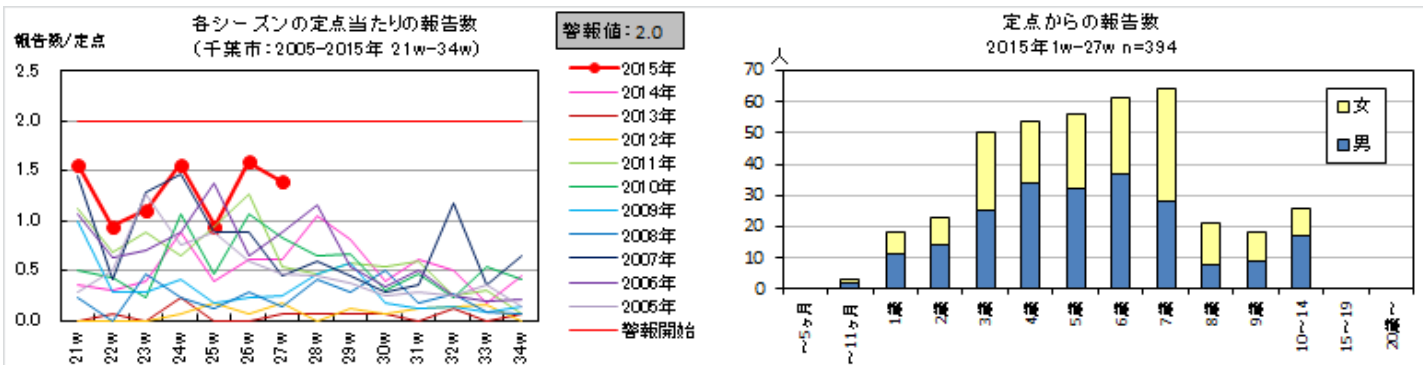
＜手足口病＞

全国レベルの第26週現在は、過去8年で最も多かった2011年とほぼ同等の動向で同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では、徳島県、香川県、京都府の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なくなっています。千葉市の2015年第27週は前週から増加し4.94となり、流行発生警報開始基準値(5.0/定点)に近付き過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、中央区(6.33/定点)で流行発生警報開始基準値を上回り最多で、次いで美浜区(6.0/定点)、稲毛区(5.33/定点)でも流行発生警報開始基準値を上回っており、いずれの区も2歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第27週までの累積報告数(n=284)によると、性別では男性が58.5%(166名)、女性が41.5%(118名)で、年齢階級別では1歳(26.4%:75名)、2歳(25.4%:72名)、4歳(13.4%:38名)の順に多くなっています。



＜伝染性紅斑＞

全国レベルの第26週現在は、過去8年の同時期と比べ多めとなっています。都道府県別では、滋賀県、長野県、埼玉県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市の2015年第27週は前週から減少し1.39となりましたが、過去10年の同時期と比べると最多のままです。区別の発生状況は、稲毛区(2.33/定点)で流行発生警報開始基準値(2.0/定点)を上回り最多で、同区の4歳及び5歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第27週までの累積報告数(n=394)によると、性別では男性が55.1%(217名)、女性が44.9%(177名)で、年齢階級別では7歳(16.2%:64名)、6歳(15.5%:61名)、5歳(14.2%:56名)の順に多くなっています。



＜百日咳＞

全国レベルは過去8年の同時期と比べ年頭から少ないレベルで推移しており、第26週も同様に少なくなっています。都道府県別では、熊本県、新潟県、鹿児島県及び千葉県の順に多く報告されています。千葉市の2015年第27週は前週から減少し0.06となりましたが、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、中央区(0.33/定点)で流行発生警報開始基準値(1.0/定点)は下回りましたが、流行発生警報継続基準値(0.1/定点)を上回っており最多で、同区の8歳で発生報告がありました。2015年第1週から第27週までの累積報告数(n=13)によると、性別では男性が46.2%(6名)、女性が53.8%(7名)で、年齢階級別では10歳代前半(38.5%:5名)、9歳(23.1%:3名)、20歳以上(15.4%:2名)の順に多くなっています。

